

第 2 回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成15年6月12日(木) 県庁本館4階大会議室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 萩野 聡(富山大学経済学部教授) 委員 石黒 厚子(財団法人北陸経済研究所主任研究員) 委員 島谷 武志(弁護士) 委員 高見 まち子(税理士) 委員 広瀬 慎一(富山県立大学短期大学部長)		
次第	1 開 会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 入札・契約方式別発注工事について 指名停止等の運用状況について 3 審議工事の抽出結果の報告(萩野委員長) 4 抽出工事の審議 5 閉 会		
審査対象期間	平成14年10月1日 ~ 平成15年3月31日		
抽出案件	10件 (対象工事総件数 1,250件)		
一般競争入札	0件	・対象工事なし	
公募型指名競争入札	1件	・小矢部川流域下水道二上浄化センター沈殿池機械設備工事	
通常型指名競争入札 (5千万円以上)	2件	・神通川左岸流域下水道神通川左岸浄化センター砂ろ過放流ポンプ棟砂ろ過機械設備工事 ・ふるさと林道伊折千石線滝谷開設工事	
通常型指名競争入札 (5千万円未満)	6件	・一般県道姫野能町線道路改築改良第3工区工事 ・神通川左岸流域下水道足洗瀉放流渠海老江第3工区工事 ・小矢部川水系本堂川河川災害復旧工事 ・一般県道本町高木出線道路改築改良その2工事 ・土地改良施設修繕保全事業三日市地区仮締切工事 ・主要地方道富山立山公園線道路改築改良工事	
随意契約	1件	・庄東第1発電所和田川ダムテレメータ更新工事	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	平成14年度下半期発注工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

(問合せ先) 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 富山県土木部管理課業務係
 電話番号：076-444-3309

別 紙

意見・質問	回 答
<p>公募型指名競争入札に応募した者が指名されないことはあるのか。</p> <p>J Oとは何か。</p> <p>指名理由の「安全管理・労働福祉」はどのような場合に考慮するのか。</p> <p>優良工事表彰の受賞者はどのように指名等に反映されているのか。</p> <p>基準等級業者が不足する場合の指名の考え方はどうか</p> <p>調査基準価格を下回る工事はどのくらいあるのか。</p> <p>1 回目の入札で落札されることが多いのか。</p> <p>技術者数は、何か影響するのか。</p> <p>工事区域に空白のスペースが見られるが、どういうことか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 1 4 年度から、原則、応募条件を満たせば、指名することとしている。(今回発注の公募型指名競争入札についても、全員が応募条件を満たしていたので、全て指名した。) ・ 発注にあたり、工期等の理由から工事を分割して発注することがある。 このような場合、同じ業者が落札すると、工期的に困難となってしまう恐れがあることから、分割工事のうち最初の入札の落札者がその後の入札に参加できないとの条件で指名することがあり、いわゆるジョーカーアウト方式(J O)と言っている。 ・ 特に事故をおこした場合など、マイナス要素として考慮する場合があるということで、事例としてはあまりない。 ・ ボーダーライン上に並ぶ複数の業者に優劣を付けなければならない場合や上位ランク業者が不足し、直近下位の等級業者を加え選定する場合に表彰受賞者を考慮することがある。 ・ 地域範囲を拡大して同一等級業者から指名するか、一定の条件を満たせば、直近等級から指名することができる。 なお、一定金額(土木一式の場合 8 千万円)を超える工事については、下位等級から指名することができない。 ・ 土木部では、平成 1 4 年度で 1 9 件である。土木工事に比べ建築工事に多い傾向にある。 ・ 入札は通算して 2 回目まで行う。1 回目の入札で落札される場合が多いが、2 回目で落札される場合や 2 回目でも落札されない場合もある。 ・ 主任技術者等の工事現場での専任対応(常時継続的に配置していること)が求められる工事については、施工体制に影響するので確認している。 ・ 下水道工事の場合、市町村の整備等に伴い流入水量が増加してくるが、このような需要の増加に併せ、必要分だけ段階的に施工している。
<p>(その他)</p> <p>次回は 1 2 月頃を目途に開催予定。</p>	